## 6．指導過程

| 段階 | 学習活動・内容 | 時間 | ○教師の支援　◎評価 | 資料 |
|---|---|---|---|---|
| つかむ | 1．桜井遺跡について知り、遺跡の様子と規模などをつかむ。<br>米づくりが始まると、人々の生活はどのように変わったのだろうか。 | 5分 | ○原町市にある桜井遺跡に目を向けさせ、当時の人々の生活について調べようという意欲を持たせるようにする。<br>○桜井遺跡は、新田川南岸の河岸段丘に位置し、この地方を代表する遺跡であることを説明する。 | |
| しらべる | 2．弥生時代の米づくりの様子やくらしについて調べる。<br>(1)このころの人々のくらしはどのようであったか話し合う。<br>(2)どのようにして米づくりをしていたかを調べる。<br>○あぜづくり…木のくわ、すき<br>○もみまき……じかまき<br>○稲刈り……石庖丁<br>○脱穀……うす、きね<br>○貯蔵……高床の倉庫　など<br>(3)人々の生活や社会がどのように変わっていったか話し合う。<br>○生活の安定<br>○むらの出現<br>○貧富の差 | 33 | ○平地に定住し、稲作をし、集団で生活していたことに気づかせる。<br>○桜井遺跡から出土した石庖丁などの資料から、この地方でも稲作が行われていたことをとらえさせる。<br>○出土品から、そのころの人々の仕事の様子を想起させるようにする。<br>○米づくりには共同生産の必要があったことや技術の発達があったことをつかませたい。<br>○人々はむらをつくり、主に竪穴式住居でくらし、稲作により食料を蓄えることが可能となったことや米づくりは階級を生み出していったことなど、生活や社会のの変化に気づかせる。 | 米づくりの1年<br>石庖丁<br>石庖丁による穂摘み<br>木製農耕具<br>打製石器 |
| まとめる | 3．米づくりがもたらした人々の生活や社会の変化についてまとめる。<br>米づくりによって、むらをつくって住むようになったが貧富の差も出てきた。 | 7 | ◎米づくりの始まりによって、人々の生活や社会が変化したことを発表できたか。（発表）<br>○博物館には、このころの様子を原始・古代の展示コーナーとして展示していることを紹介し、見学への意欲を持たせる。 | |